監督および競技者注意事項（Ｒ８）

１　本駅伝競走大会は、2026 年度日本陸上競技連盟駅伝競走規準と本大会申し合わせ事項に準じて行う。
（１）スタートにおける並び方は（３列）、オーダー提出時に抽選する。
（２）出発は規則に準ずるが、特に次の如く合図する。
　　１０秒前「オン・ユア・マークス」（この時、競技者は必ず静止する）

２　第１走者の出発の要領は次の通りとする。　※ 出発について、第１走者への注意
（１）出発の 10 分前・５分前・３分前・１分前・30 秒前・20 秒前・10 秒前をアナウンスする。（10 分前にチーム紹介を行う。）
（２）スターターは、10 秒前のアナウンスと同時に、「オン・ユア・マークス」の声をかける。（競技者は必ず静止する）スターターは、定刻にスタートさせる。
（３）競技者は「オン・ユア・マークス」の合図でスタートラインに並び、ピストルの合図でスタートする。（不発の場合でもスタートする）
（４）フライングがあった場合は、スタートのやり直しを行う。（２分後に行う）

３　競技者が途中で競技を続行できない状態になった場合、または医務員等により競技の中止を命ぜられた場合は、以下のとおりとする。
・**当該区間の記録**：無効とする。（無効区間以外の記録は認められる）
・**競 技 の 再 開**：審判長の指示に従い、次区間走者から再び競技を続行できる。
・**再スタート時期**：最終チーム走者と同じタイミングとする。

４　中継点で先頭通過時刻より１５分以上経過した場合、審判長の判断により繰り上げスタートもありうる。

５　中継点のタスキ受け渡し区域は、中継点の前方（進行方向）２０ｍとする。

６　競技者はコースの左側を走行し、その他役員の指示に従うこと。

７　アスリートビブスは、胸と背部に確実に付ける。また、「タスキ」は必ず肩から脇の下にかけて走ること。競技中「タスキ」をはずしてよいのは、中継所４００ｍ手前とする。（タスキを投げない。中継線を超えて渡すこと。）

８　競技者に対しては、いかなる者（チーム関係者・保護者等）でも、徒歩であろうと車両（車・オートバイ・自転車）であろうと伴走は認めない。

９　競技者のオーダー用紙は、前日の監督会議開始１０分前（13 時 50 分）までに受付へ提出すること。
ただし、その後の不慮の事故（ケガや病気等）により変更が生じる場合は、大会当日の午前 7 時 00 分から午前 7 時 30 分までの間に、大会総務へ「出走者変更届」用紙を提出すること。（補員から補充すること。）

10　競技者は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。

11　「審判長は不適当な行為をする競技者を除外させたり、競技続行不可能と判断された競技者を中止させる権限を有する。審判長の権限を技術総務、競走審判員、観察員等に委任しておく必要がある。」（日本陸連駅伝競走規準）を適用し、判断基準については監督会にて申し合わせを行う。